

協議テーマ

【令和2年度学校教育自己診断および学校評価、令和3年度学校経営計画、6期生進路状況】

※第3回運営協議会につきましては、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、委員のみな様にご参集いただく会議の形式はとらず、協議テーマの資料をもとにご意見をいただきました。

* 令和2年度学校教育自己診断および学校評価

評価した項目48件中◎が13件(27%),○が23件(48%),△が12件(25%)となっている。特に高い評価ができた項目については今後も継続・発展を期待したい。△でもコロナの状況など外部要因のものは特段の取り組みをせずとも来年度改善が見込まれる。特に中期目標との連動する項目では来年度達成可能なより具体的な目標を設定することが良いのではないかと考える。

いじめなどの早期発見につながる相談の場をより相談しやすくなるよう取り組みうれしく思う。

* 令和3年度にむけて

R3計画では中期目標の記述について以下のようにしたほうが良いと思う。1(1) 2行目生徒の肯定率を80%維持する→生徒の高い肯定率を維持する

「全校一斉休日(企業でいう「ノー残業デー」と解釈しております)」の定着はたいへん素晴らしいものと思料するが、校務の効率化(機械化・平準化・廃止など)とセットで行わないと、ただただ「金曜日はすぐ帰る」「残業時間の削減」自体が目的となってしまうリスクがあると思われるので、職員へ「なぜワークライフバランスが重要なのか」という課題認識の落とし込みとセットで周知徹底することが望まれる。

令和2年度のストレスチェック指数が「113」とのことで、前回の「98」から大きく上昇したものと認識している。(「100」が平均と解釈している) 職員へのケアが望まれる。今年度は、コロナ禍という未曾有の事態に、誰もが大きな戸惑いを感じた一年だった。

まだまだ終着点が見えない状況で、次年度への影響も大きなものであると思っている。コロナ禍による様々な影響が今後、見えてくるのではと懸念しているが、そんな逆境の中にあっても、何事にも一生懸命に取り組むことのできる生徒を育む教育を実践していただき。次年度はできる限り、通常の学校運営に近いものになるよう願っている。

* 進路指導

コロナの影響により教育活動が制限される中にもかかわらず、卒業生の進路確保をほぼ100%達成するなど期待された成果を挙げられていると思う。